遮断部取り付けの手順_Cタイプ

# 地震時の 通電火災 を抑制するために

# ピオマ感震ブレーカー

# の設置を進めましょう！

UBUKATA
MERYCON

# 【お問い合わせ先】

この動画は、ピオマ感震ブレーカーの取り付けに関する動画です。
ご不明な点等あれば、下記までお問い合わせください。

株式会社生方製作所　ピオマ係
フリーダイヤル（0120-279-170）
※土日祝を除く（9:00～17:00）

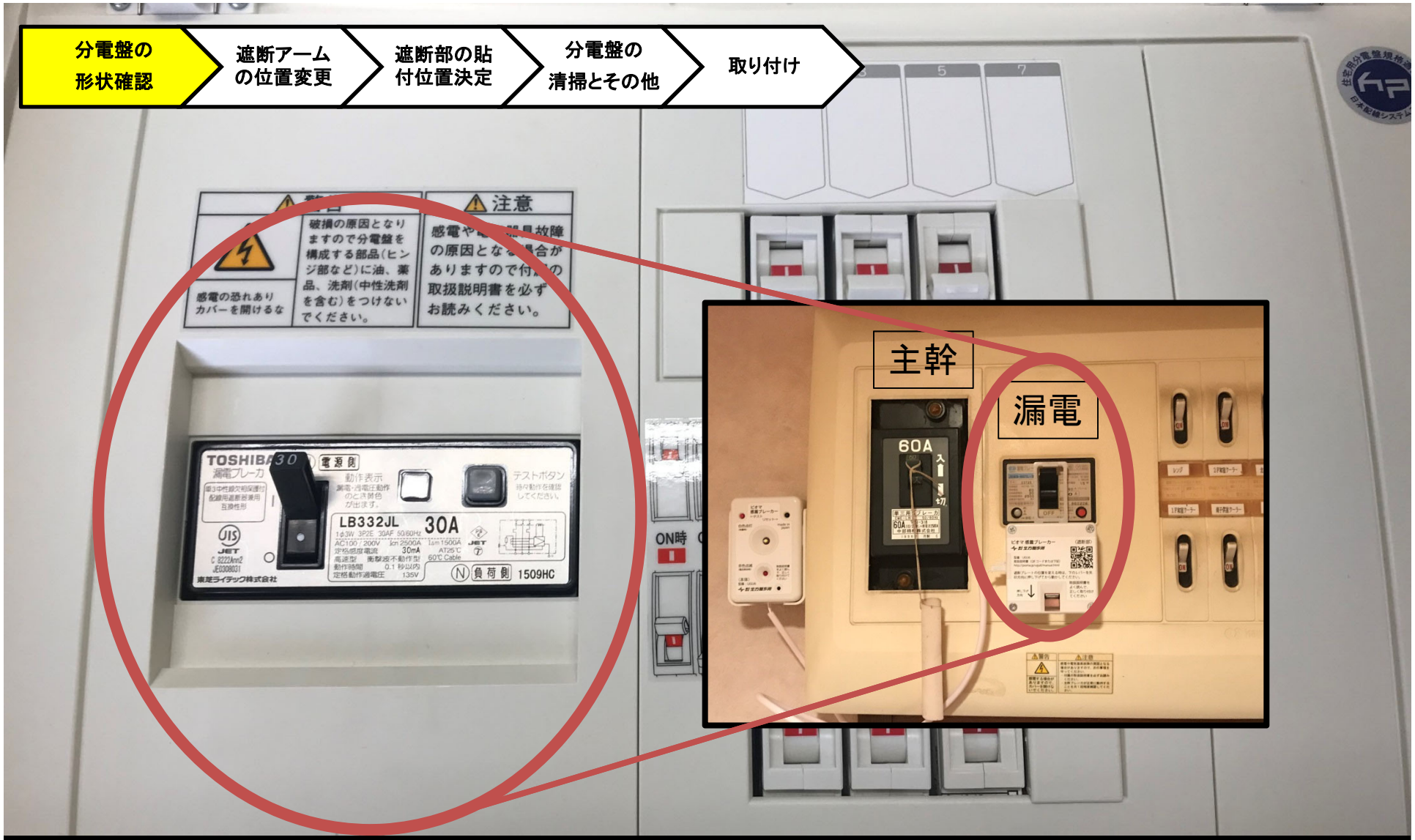
# 【注意】

各ご家庭の分電盤は、高い位置に取り付けられていることが多いです。
設置を行う際には、周りと安全に十分に配慮をして設置を行ってください。

# 【遮断部取り付けの手順】

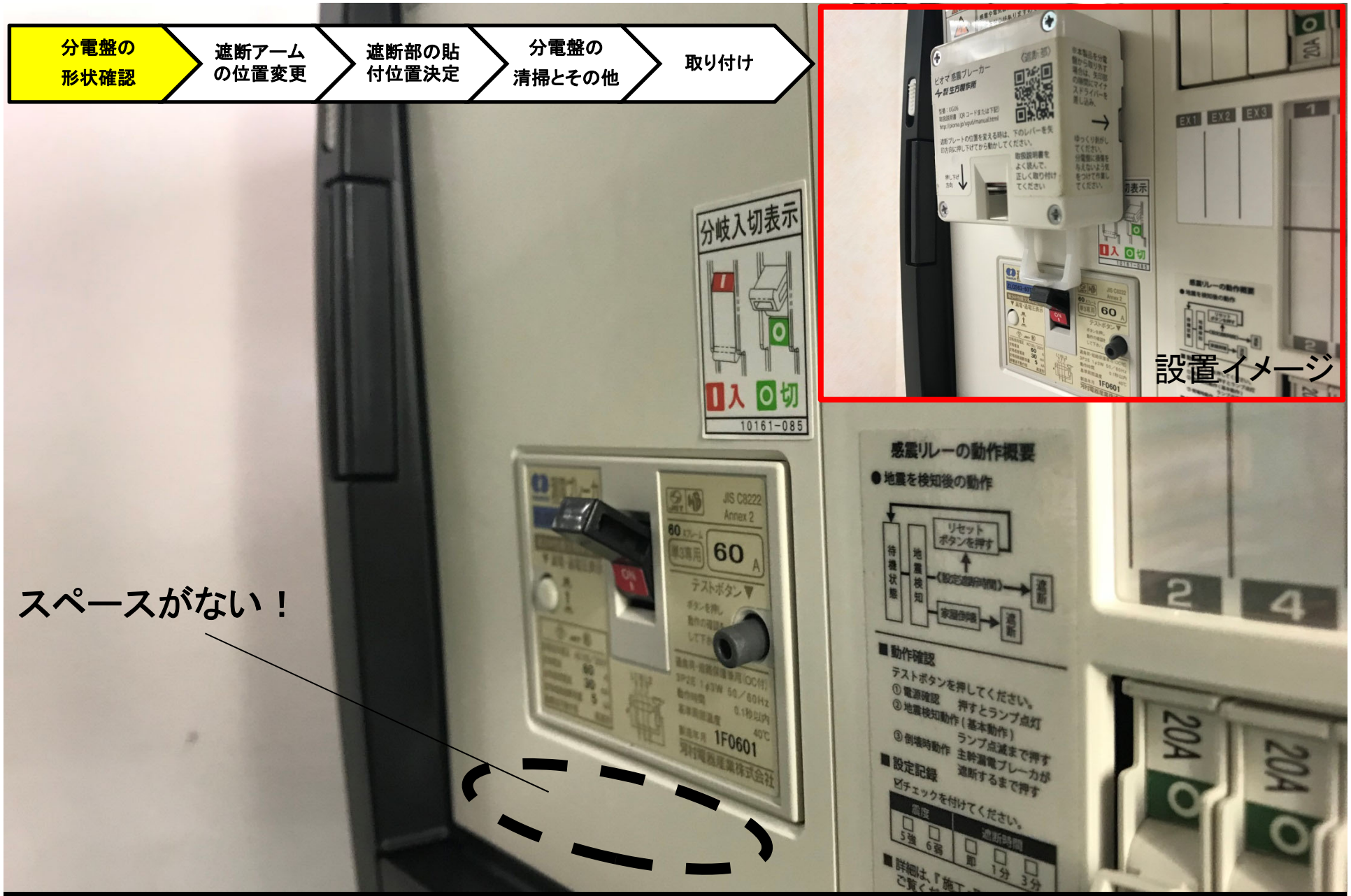
**遮断部の取り付けは、上記手順（計5手順）に沿って進めてください。**

# 【分電盤（漏電ブレーカー）の形状確認】



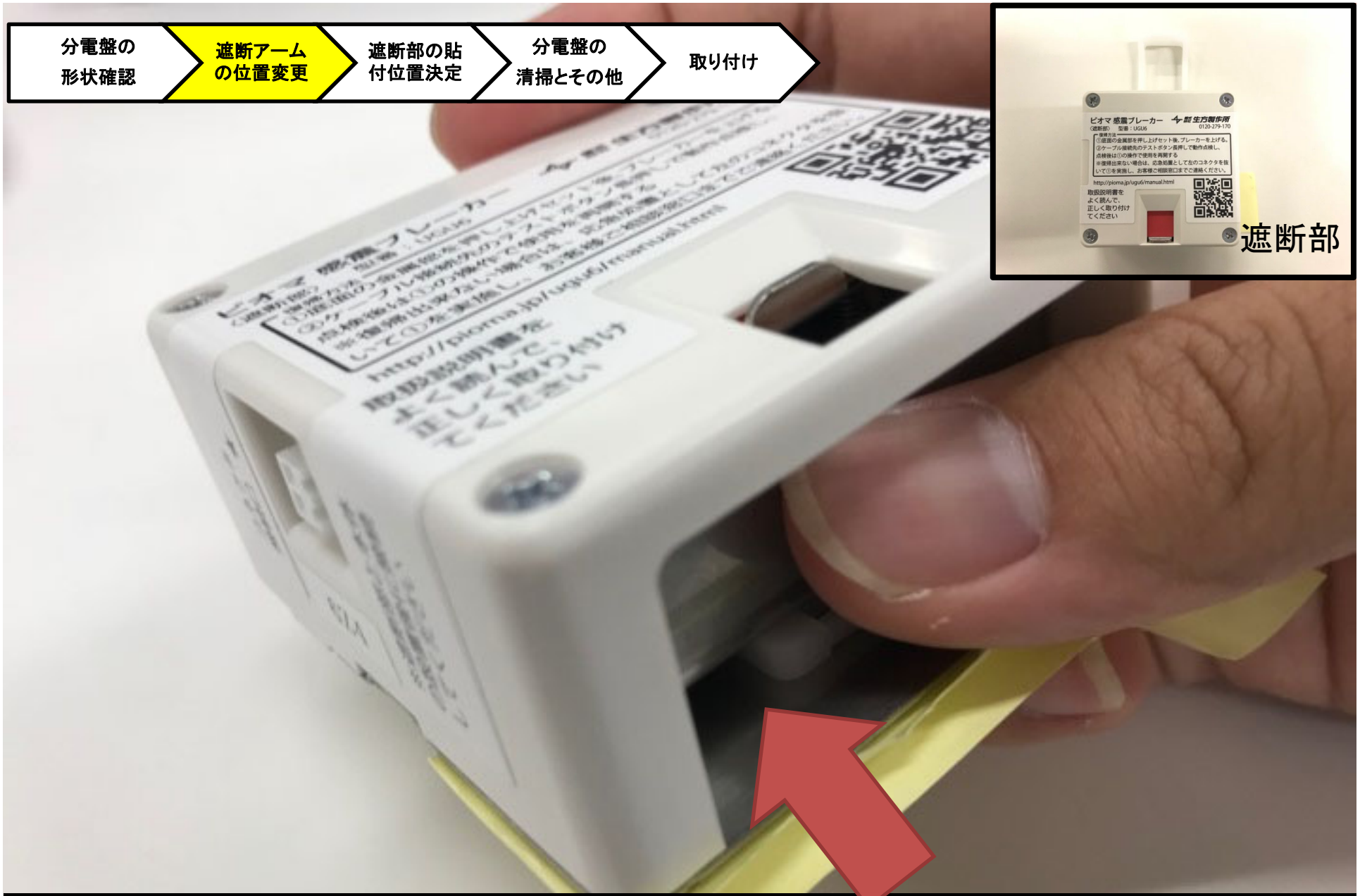

遮断部の設置可否の確認をするために必ず分電盤の漏電ブレーカーの周辺を見てください。このとき、主幹ブレーカーと漏電ブレーカーを間違わないよう注意しつつ御家庭の分電盤の形状を確認してください。

※地域によっては「主幹」のない分電盤もあります。



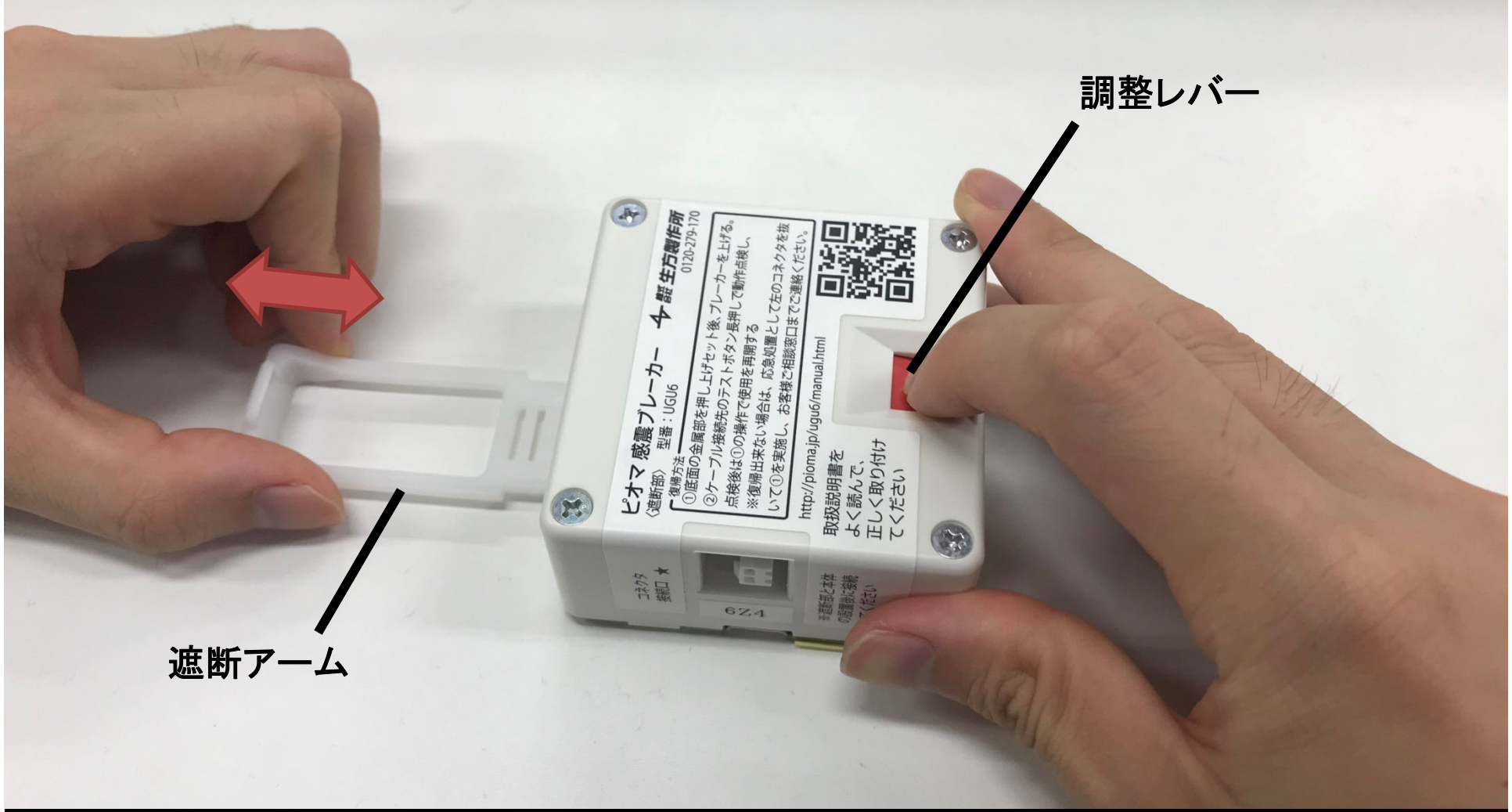

取り付ける分電盤の漏電ブレーカーは分電盤表面と同じ面で、下部に遮断部を取り付けるスペースがないことを確認します。

# 【遮断アームの位置変更】




ABCDいずれのタイプの方もまず初めに遮断部を取り出して図のように遮断部の底面部分を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

分電盤の形状確認 → **遮断アームの位置変更** → 遮断部の貼付位置決定 → 分電盤の清掃とその他 → 取り付け

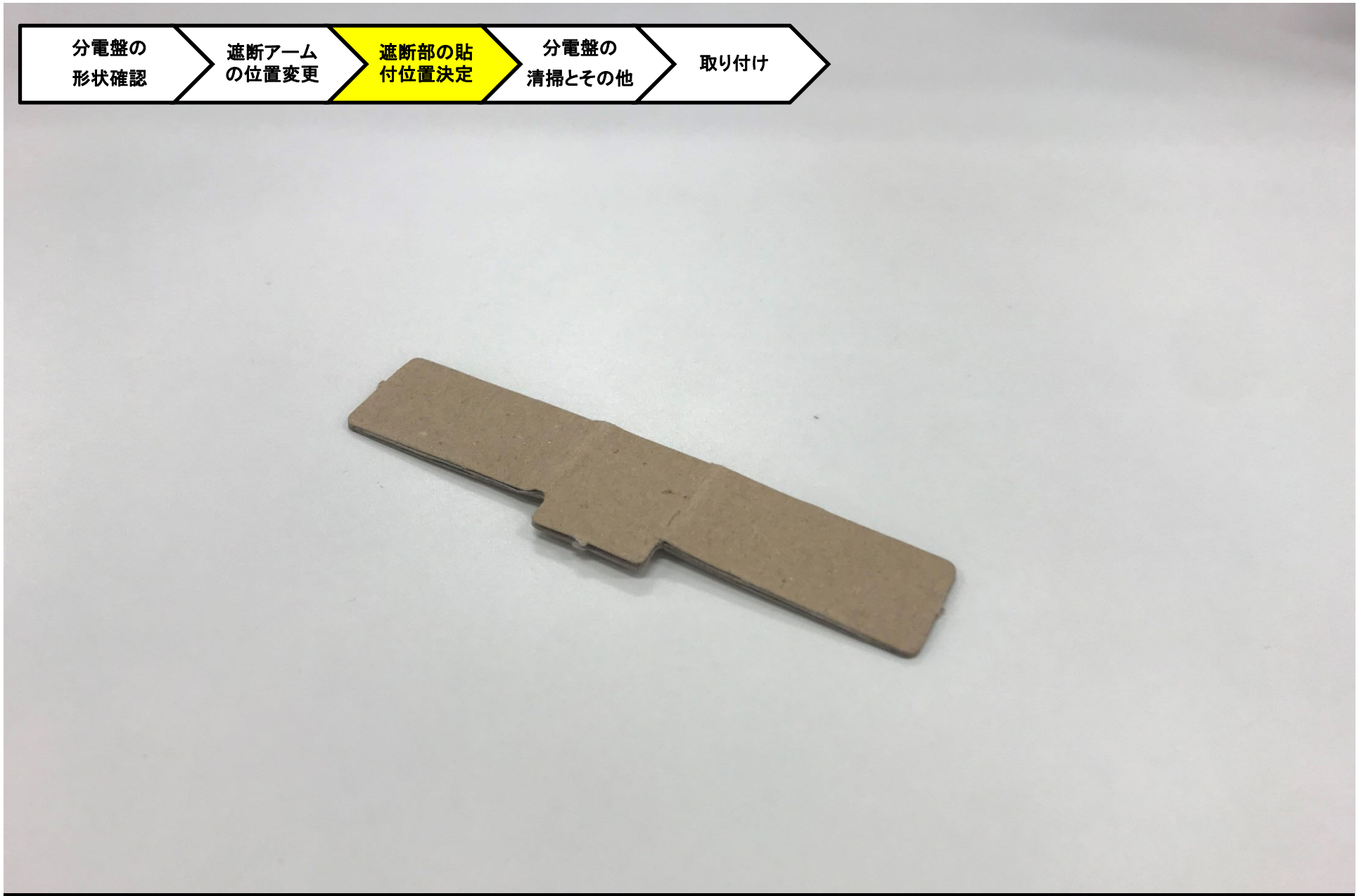



**アームの調節については、底面部分が押し込まれている状態で図のように右手側の調整レバーを押し下げながら、遮断アームを矢印のように位置を調整します。**

分電盤の形状確認 → **遮断アームの位置変更** → 遮断部の貼付位置決定 → 分電盤の清掃とその他 → 取り付け

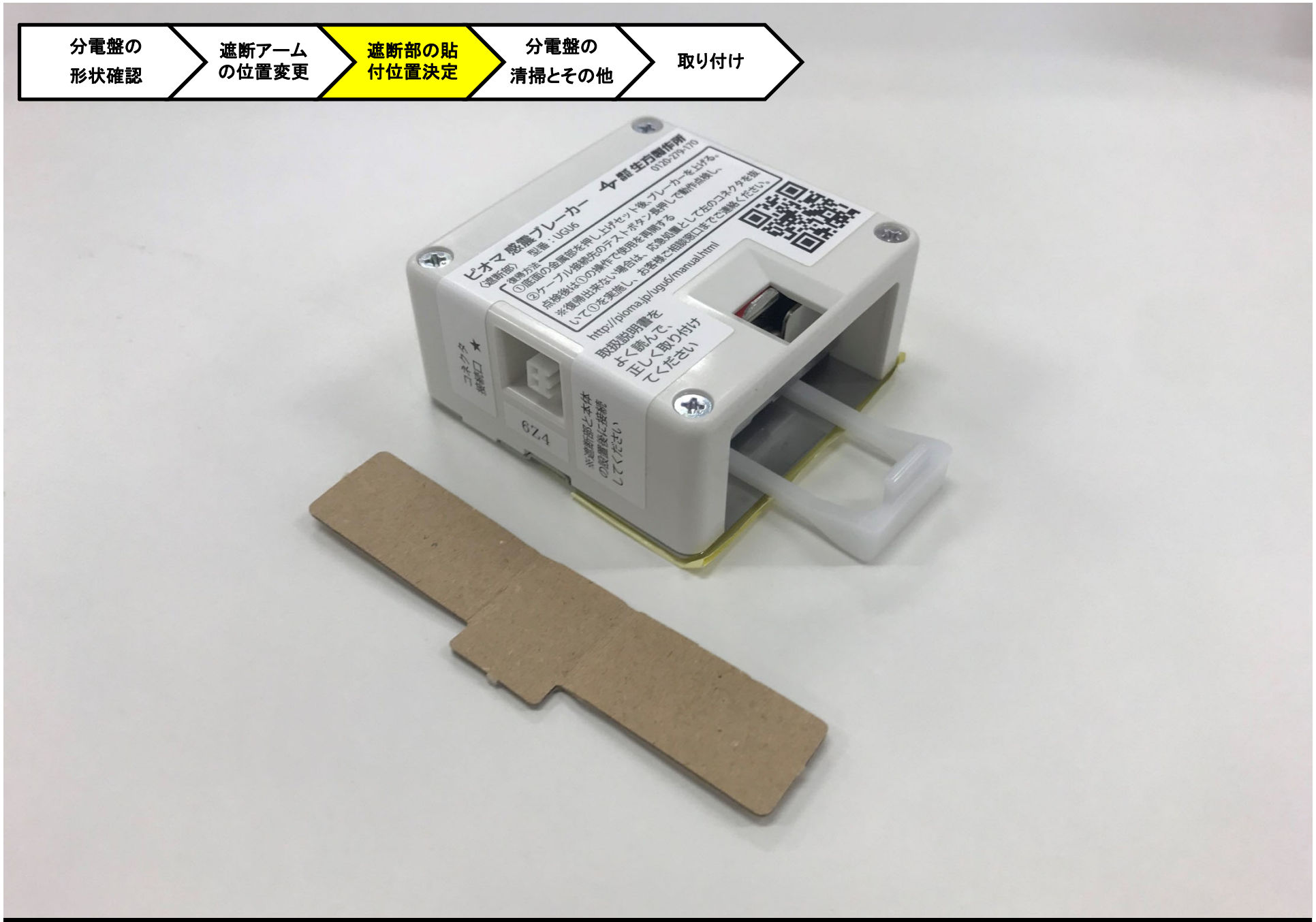
**図のようにアームを抜き取り、底部側から突起部が図の方向に取り付けられるよう再度挿入を致します。**

# 【遮断貼付位置の決定】




次に遮断部の貼付位置を決める作業に移ります。
まずは、箱（袋）から設置台紙を取り出してください。

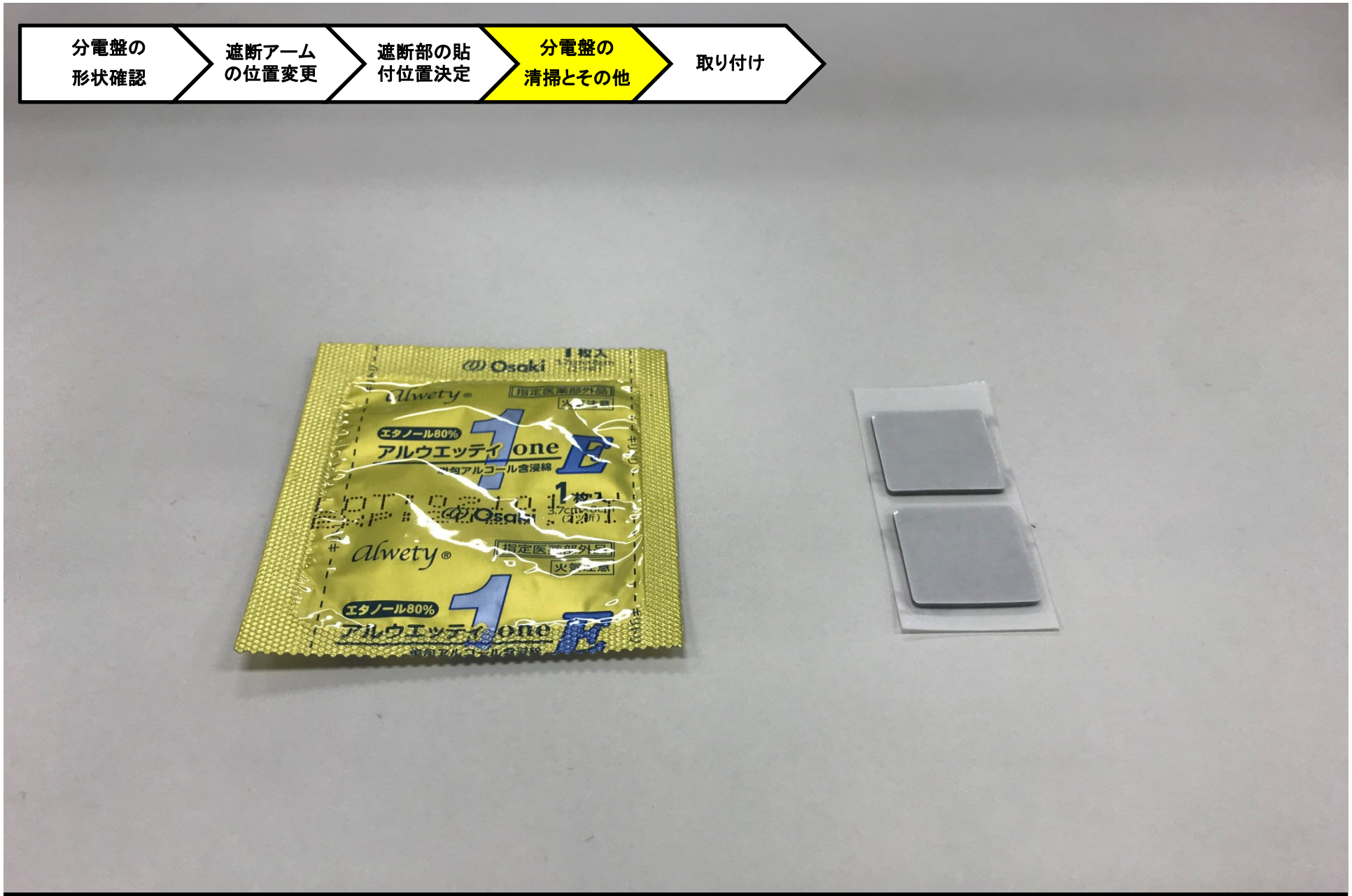
分電盤の形状確認 → 遮断アームの位置変更 → **遮断部の貼付位置決定** → 分電盤の清掃とその他 → 取り付け



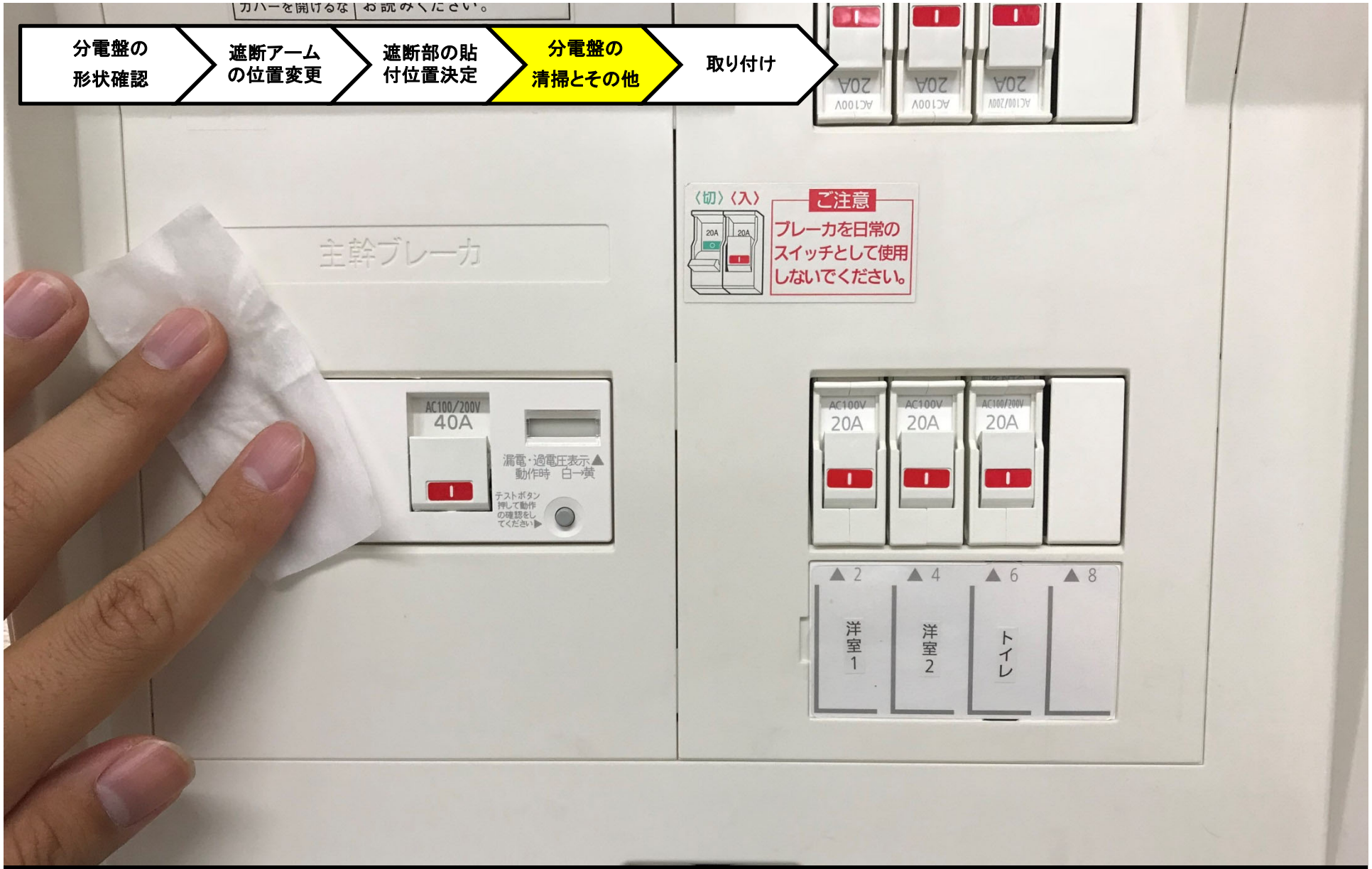

**タイプCの方は、そのまま折らずに使用します。**

# 【分電盤の清掃とその他】

分電盤の形状確認 → 遮断アームの位置変更 → 遮断部の貼付位置決定 → **分電盤の清掃とその他** → 取り付け

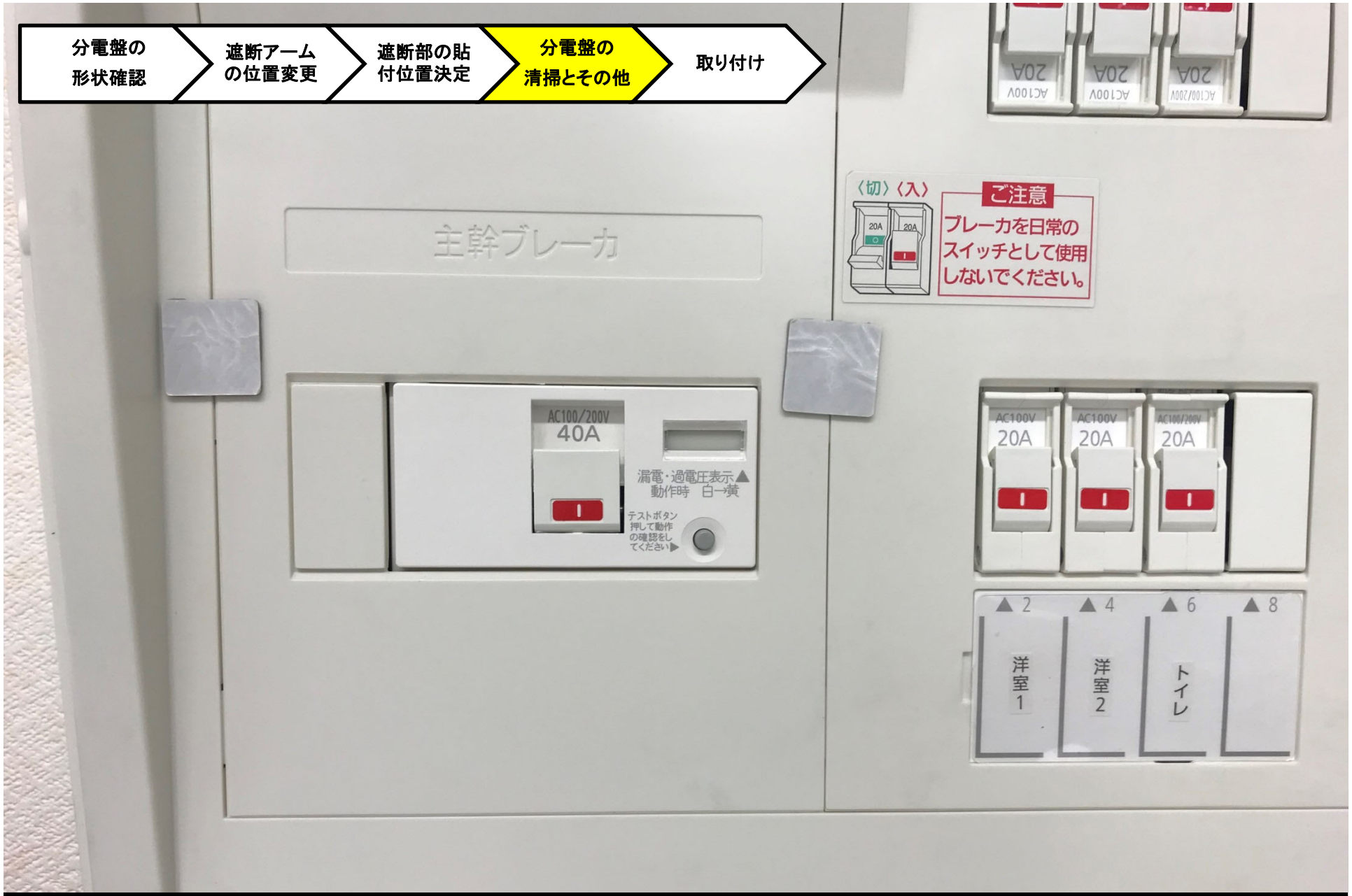



次に、分電盤の清掃とその他の作業を行います。
はじめに箱からアルコールシートを分電盤パネルを取り出します。



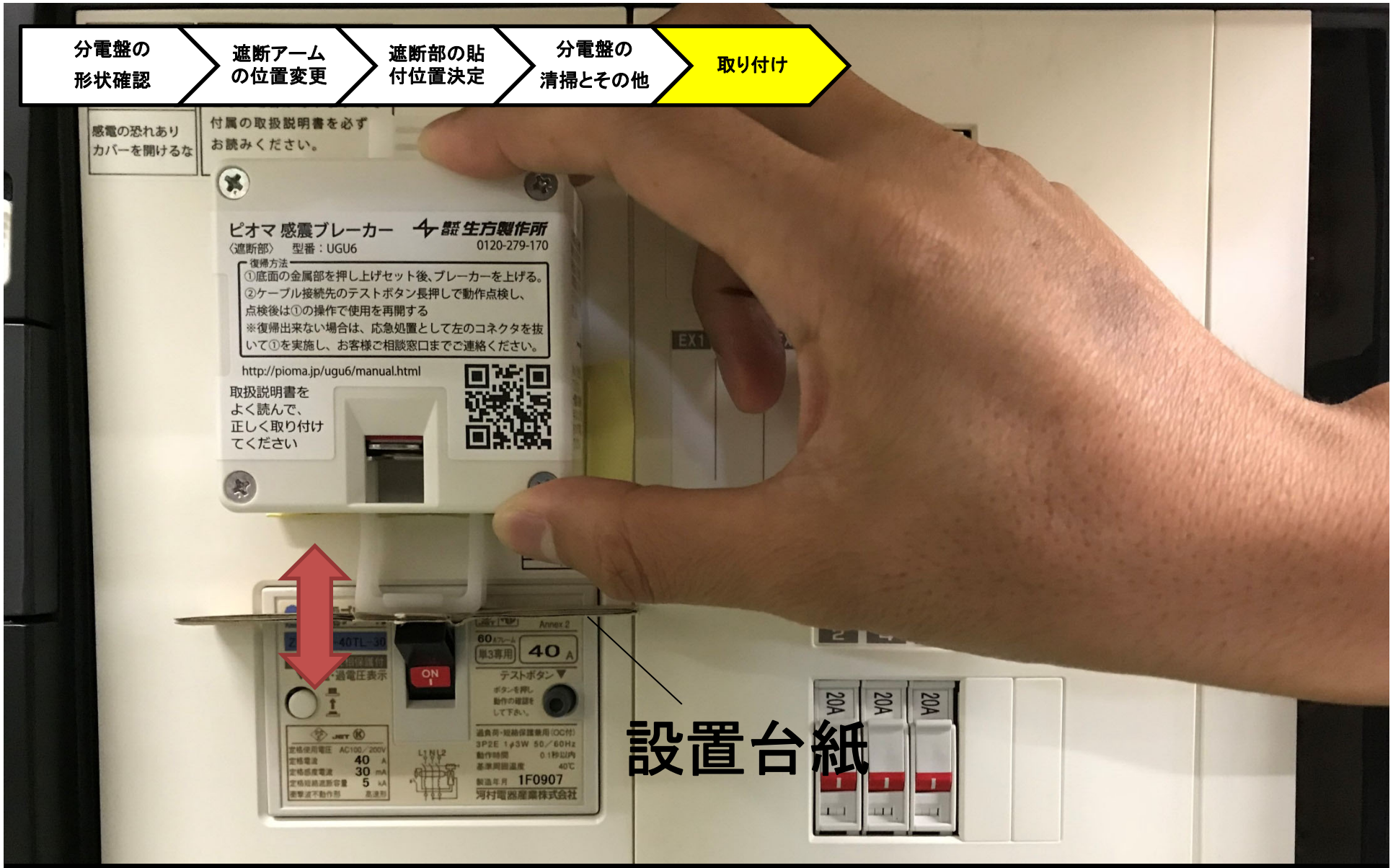

# アルコールシートを取り出して遮断部が貼りつけられる付近全体のホコリ等を取り除きます。

※アルコールシートはエタノールを使用しておりますので、肌が弱い方はご注意ください。

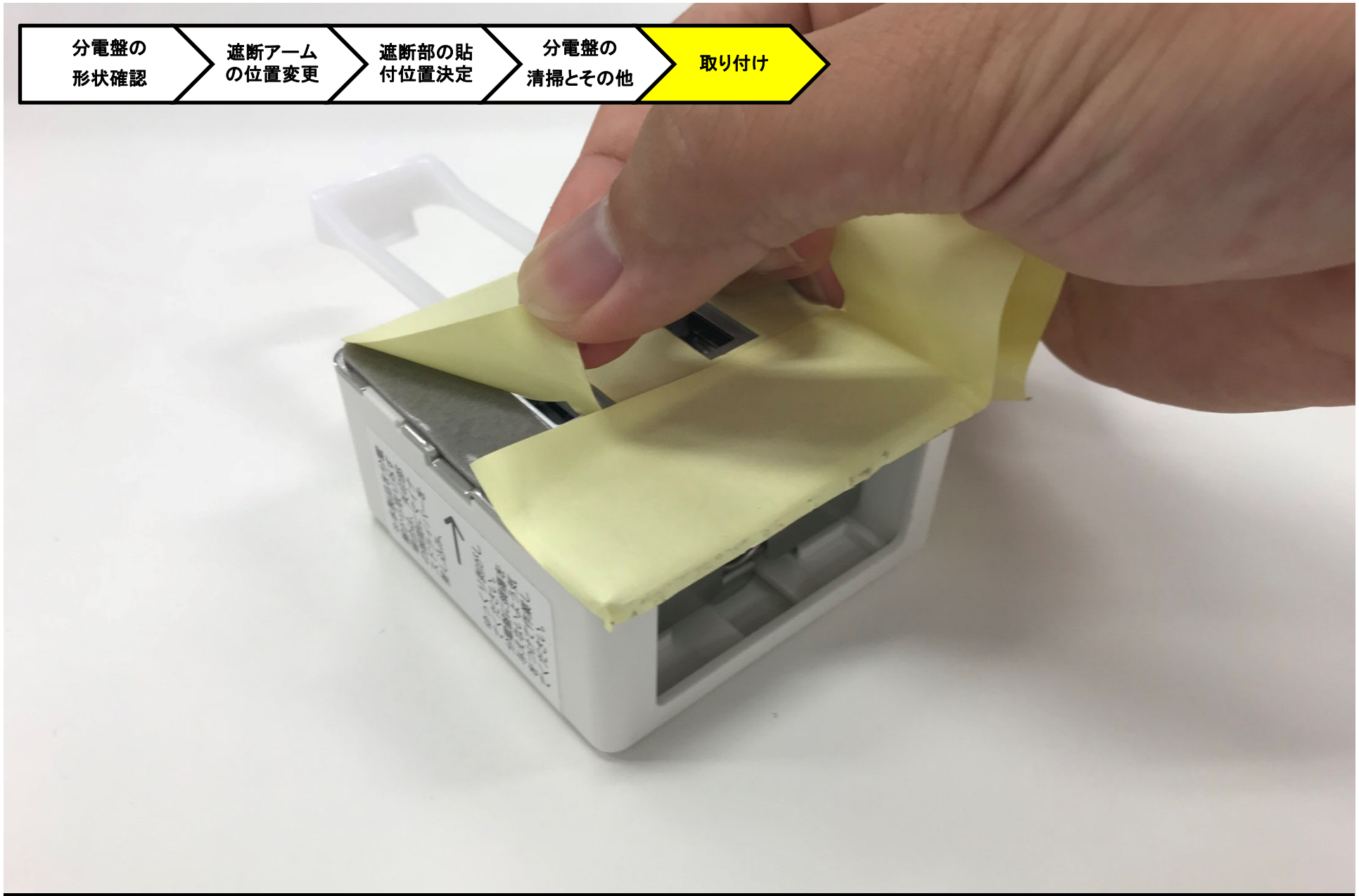



分電盤の正面パネルの補強を行うために、図のように正面パネルの境目の上下中央付近2ヶ所にパネル押さえを貼り付けます。

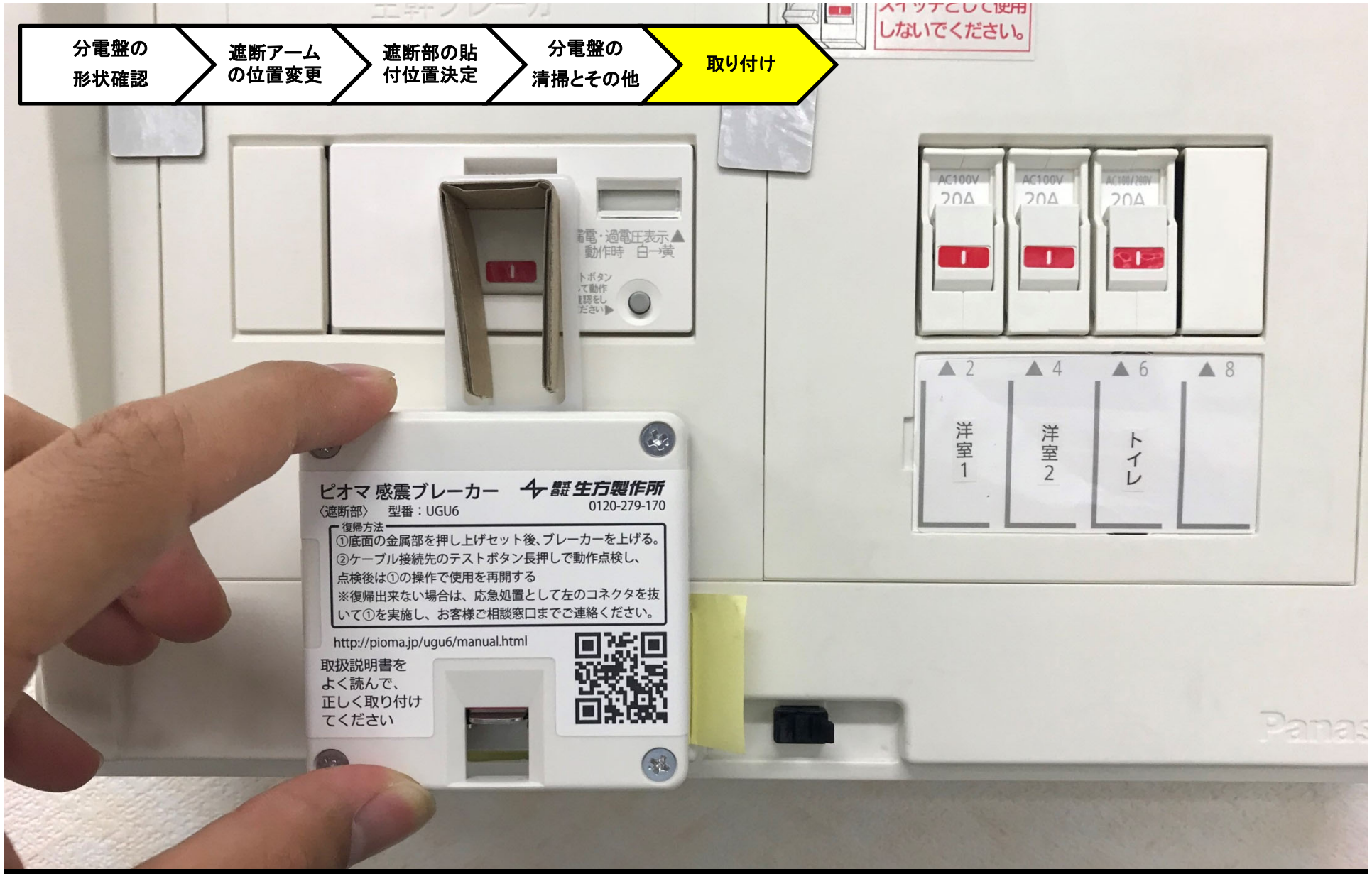
# 【取り付け】




図のように分電盤にあてがい取り付け位置の確認をします。
接着面の半分以上が分電盤のパネルに貼りつけられるように
遮断アームの位置を調整します。

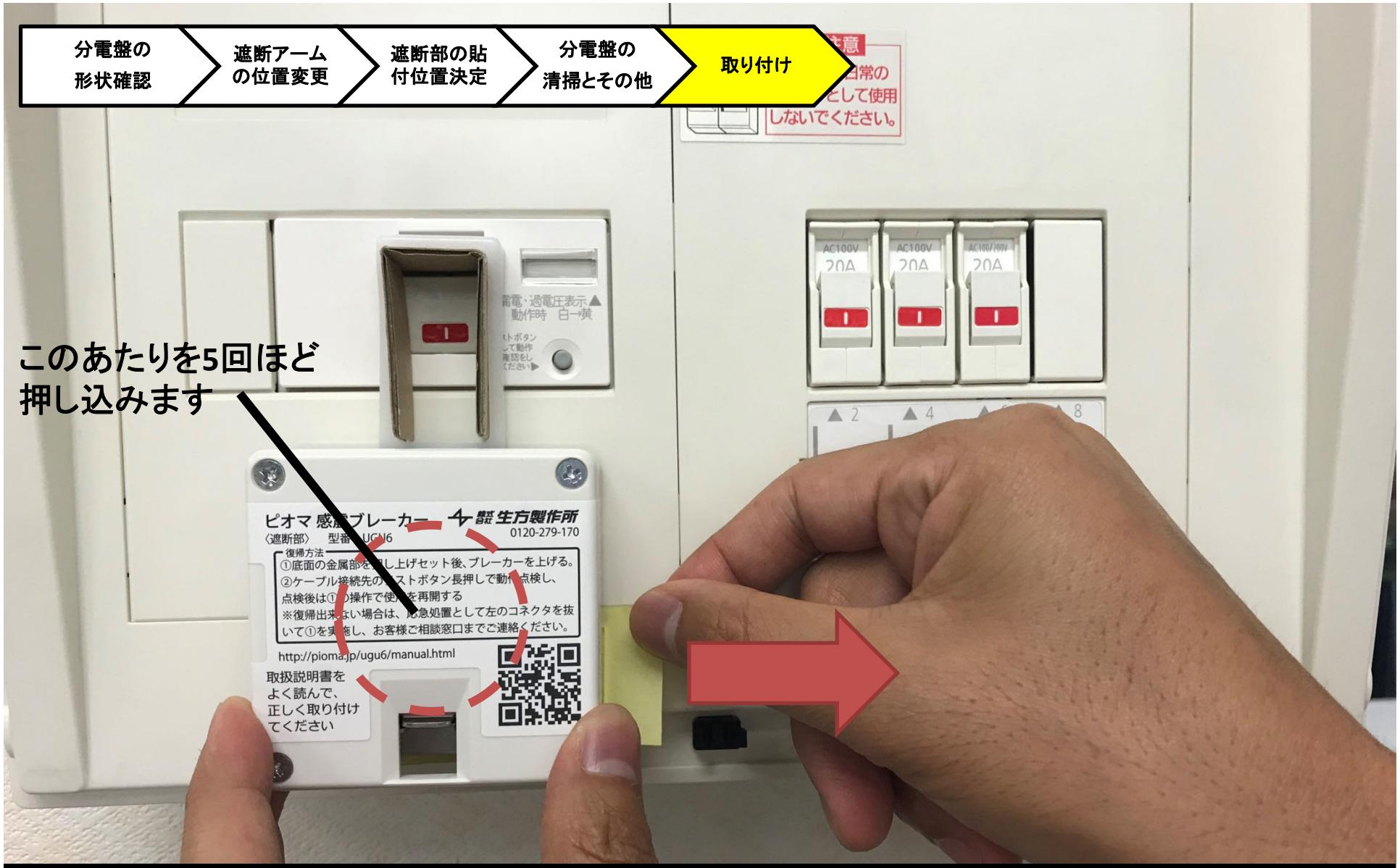



貼り付け位置の確認が出来たら、図のように遮断部裏面上部の剥離紙のみを剥がします。※このとき、下の長い方の剥離紙は剥がさないよう注意してください。

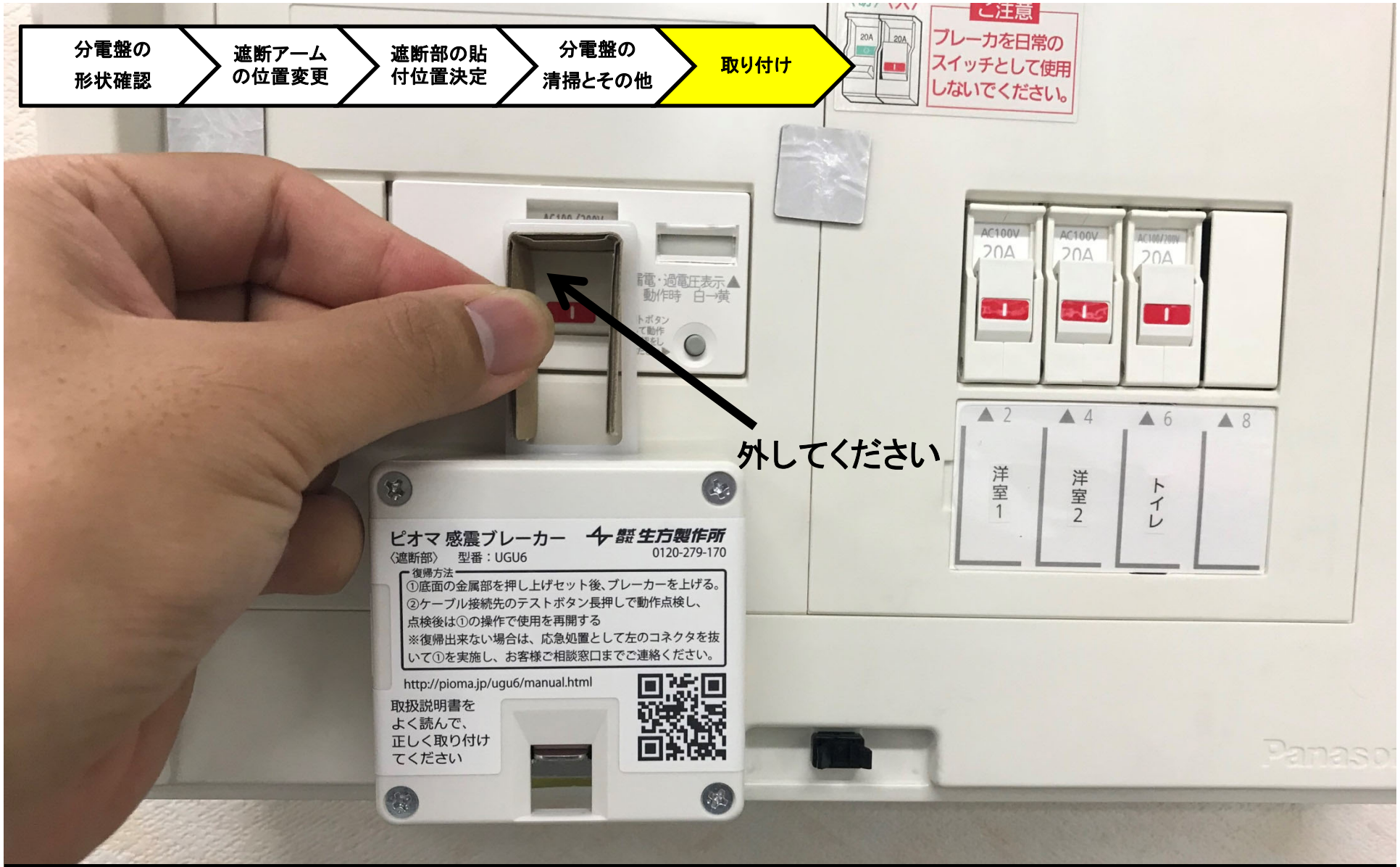



**剥離紙を剥がし終えたらタイプ別に確認した取り付け位置に合わせて貼り付けます。分電盤に軽く押し当てて貼り付けてください。**

**写真のものは、違うタイプです。**




最後に本固定の作業です。図のように右側に出ている剥離紙を外側へ引っ張り剥がしてください。その後、遮断部中央部分を5回ほど強く分電盤に押し込んでください。写真のものは、違うタイプです。




遮断アームに付いている設置台紙を抜き取ります。強く引っ張ると、位置が変わるまたはブレーカーを遮断してしまうためゆっくりと引っ張ってください。抜きとったら遮断部取り付けの完了です。写真のものは、違うタイプです。